

できる・できる・できる

校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和3年 4月22日

No.4

長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

連携した相談体制の充実

我々教師は、いじめや不登校など生徒たちを取り巻く様々な問題に対して、早期発見、早期対応を心がけています。また、問題が発生した場合には、最大限の対応を行っています。しかし、近年の生徒たちを取り巻く環境の変化に伴い、言動や心理面など、原因というべき中核にたどり着けないことが多々あります。



そこで、本校では、SC（スクールカウンセラー）、相談員、SSW（スクールソーシャルワーカー）と連携した相談体制を整え対応を行っています。



特に、SCは臨床心理士の資格を持ち、より専門的な相談や対応が可能です。相談内容は「秘密厳守」で行います。具体的な相談方法については、後日プリント配布予定です。

メディア利用の共通ルール ～親子で考えよう～

年々低年齢化しているスマホデビュー。SNSの使用に関連し「いじめは夜布団の中で起きている」という言葉があります。不適切な使用でいじめの温床となるケースがあるのも事実です。ぜひ、危機意識を持って親子でルールを決めておきましょう。

心の種

今回のテーマは「笑顔をよぶあいさつ」です。

朝から学校の隣にある消防団第十六分団前の横断歩道で、あいさつを兼ねた安全指導をしていた時のことです。ある生徒が、私に「おはようございます」とあいさつをしながら横断歩道を渡り終えました。

すると次の瞬間、その生徒は一時停止してくれた車（運転手さん）にお辞儀したのです。運転手さんも笑顔で、その生徒に向かって手をあげてくれました。

あいさつはあいさつをよび、さらに、笑顔になって返ってくるんですね。登校時の嬉しい一コマでした。

育友会総会・部活動振興会総会開催！

16日（金）に、2・3年生の学年・学級育友会と、育友会総会並びに部活動振興会総会を実施しました。参加者数約80名（職員含む）と、お忙しい中、保護者のみなさまにご出席頂きました。育友会総会では、前会長岩永敏博さんのご挨拶に始まり、昨年度の事業報告、決算報告、監査報告を行いました。また、部活動振興会総会も同様に、昨年度の事業報告、決算報告など、全体の活動報告等を行いました。



新役員のみなさん、お世話になります



育友会並びに部活動振興会旧役員のみなさん、これまでのご尽力に心より感謝いたします。

そして、新育友会長川口英子さんと10名の副会長のみなさん、新部活動振興会長中嶋てるこさんと2名の副会長並びに会計をはじめとする8名の役員のみなさん、お世話になります。（報告内容や役員名など、詳しくは総会資料をご覧ください。）

生徒はもちろん、保護者のための育友会

育友会は、世帯+職員が力を合わせて、まさに「一人一役」の精神で、生徒たちのために取り組む会です。

また、時代が変わり、各家庭の価値観が変わり、さらに、コロナ禍の影響もあり、我々大人にも様々な不安が広がっています。そのような中に、子育ての悩みを誰にも打ち明けられずに、悩み続ける保護者も増加しています。不安を少しでも分かってもらえる仲間、打ち明けられる仲間、つながる仲間づくりとしても育友会の役割は大きいと思います。



保護者のみなさん、どうぞご協力をお願いします。